

学力向上拠点形成事業（確かな学力育成のための実践研究事業）
平成17年度 中間報告 【大垣市】

推進地区の概要（平成18年3月現在）

推進地区名	大垣市					
推進校(校数)	小学校	1校	中学校	1校	計	2校
推進校(校名)	大垣市立西部中学校 大垣市立宇留生小学校					

研究のねらい

本市では、9年間を見通した教育の重要性に鑑み、全国に先駆け、中学校校区を単位とした小中一貫教育を推進してきた。そのため、市内小中学校に兼務教員を配置するなど、9年間を見通した小中一貫指導体制の充実に努めてきた。このことにより、各学校においては、児童生徒の実態はもとより、小中学校の教育内容を相互に理解し、計画的・継続的な教科指導等を展開することにより、小中学校の発達段階に即しながら子どもを着実に育む教育が創造できるようになってきた。しかし、学習状況調査を始め、本市独自で実施している学力検査の結果より、身に付けさせたい基礎基本を確実に定着することや共通して取り組む学習指導について、研究実践することが必要であると捉えている。

そこで、本市では、今後の展望として、これまでの小中一貫教育の推進の成果を踏まえ、学力向上を目指した学習指導の研究実践に取り組み、併せてその成果を検証する。

研究の概要

推進地区として実施した事業の概要と実施体制

<p>「大垣市学力向上推進事業」【概要】</p> <p>児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるために、学力検査（CRT）により、児童生徒の学力や学習状況の実態を把握する。児童生徒の学力や学習状況から、一人一人に応じた学習指導の改善等に活用する。指導と評価の在り方について研修を行う。</p> <p>児童生徒に「英語による実践的なコミュニケーション能力の育成」のために、系統的な指導と評価の在り方について研修を行う。</p> <p>【研究の実施体制】</p> <p>学力向上推進委員会 評価検討委員会 学力パワーアップ委員会 小学校英語教育検討委員会</p>
--

推進校に対する実施スケジュールおよび方策

<p>合同研究推進委員会 7 / 28 ・ 10 / 24 ・ 11 / 14 ・ 12 / 27</p> <p>* 大垣市学力向上推進委員会での授業公開にあたっての主張点の検討</p> <p>* 「確かな学力」の育成のための具体的方策についての究明</p> <p>* 五校が共通して高めたい力について交流</p> <p>* 学習状況調査・CRTの実態をもとにした分析結果の交流</p> <p>西部中校区 五校校長会 1 / 13</p> <p>* 西部中校区の研究構想について</p>
--

* 西部中校区の研究組織や体制づくりについて

西部中校区 五校教務主任会 2 / 28

* 来年度の研究構想についての検討

* 研究組織・研究体制についての検討

* 研究会の持ち方，研究会の予定の検討

大垣市学力向上推進委員会 12 / 9 (宇留生小学校)・2 / 6 (西部中学校)

* 授業公開および「確かな学力」の育成のための具体的方策についての究明

成果と課題

< 成果 >

大垣市学力向上推進委員会の設置による組織的，継続的な指導の充実

兵庫教育大学長，京都ノートルダム女子大学教授，岐阜聖徳学園大学助教授，大垣市研究指導員，保護者代表から授業 参観及び研究構想にかかわって，「確かな学力向上」に向けて適切な指導助言を得ることができ，今後の実践研究の参考となった。

(大垣市ホームページ参照)

西部中校区の研究体制「合同研究推進委員会」の確立による連携の充実

定期的な大垣市教育委員会によるコーディネートによって「合同研究推進委員会」を行うことで，学習状況調査やC R T検査による 実態把握や分析を共通して行ったり，目指す児童生徒像を共に考えたり，授業改善の在り方について検証を行ったりして，研究体制づくりが軌道に乗りつつある。

校内および外部での授業検討の充実

「確かな学力向上」のための「目標と指導と評価」の一体化の図られた指導案の検討が校内でなされたり，大垣市教育委員会，西濃教育振興事務所の担当指導主事の指導助言が事前事後に継続的になされたりした。

< 課題 >

児童生徒の実態を踏まえた研究構想についての見直し

児童生徒の学習状況(県の学習状況調査，C R T検査の結果や授業中に見られる姿)を踏まえ，目指す児童生徒の姿や育てたい力を明らかにすること，焦点化することなど，さらなる研究構想の見直しを図っていきたい。

西部中校区の研究体制のさらなる充実

推進校，協力校五校による研究体制を継続して大垣市教育委員会がコーディネートし，小中の連携を一層充実させていきたい。

全校研究授業(全校研究授業や研究会での五校教職員の相互参加)，合同研究推進委員会，合同教科部会(国語・算数・数学)，合同の学習集団づくりや学び方検討会など，研究体制を生かして計画的，継続的な研究推進の充実を図っていきたい。

確かな学力の向上に向けて，さらなる授業改善を図る研修の充実

教師の確かな指導力の向上に向けて，授業改善を図る研修の充実を継続的に行う。

さらに，「この単元でどんな力を付けたいか」を明確にした「目標分析表」の作成をすることにより「目標と指導と評価」の一体化を図った指導案の作成をより一層充実させていきたい。